

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	

同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
公告方法	日本経済新聞

株式に関するお手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種お手続きについて
原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて
当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

未受領の配当金のお支払いについて
三菱UFJ信託銀行本店においてお取り扱いいたします。

株主の皆さまの **声** をお聞かせください

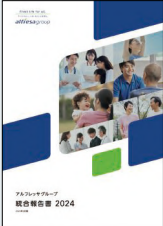
コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではありますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 [✉ koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

ホームページでも
IR情報を公開しています



「アルフレッサグループ
統合報告書 2024」
<https://www.alfresa.com/ir/>



株主のみなさまへ

2025年3月期 報告書

(2024年4月～2025年3月)

証券コード 2784

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部

〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL: 03-5219-5102 FAX: 03-5219-5103
E-mail: ir@alfresa.com



Fresh life for all.
すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresagroup



株主のみなさまには、平素より格別のご支援とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度まで当社グループは、3ヵ年の中期経営計画「22-24 中期経営計画 未来への躍進～進化するヘルスケアコンソーシアム®～(22-24 中計)」のもと、新たな価値の創造を目指し、基盤事業の強化、成長事業の育成、新規事業の開発を推進し、医療用医薬品等卸売事業を中核とした医薬品・診断薬・医療機器の製造から卸売、調剤薬局運営までの医薬品等のTSCS(トータルサプライチェーンサービス)の強化と拡大に取り組んでまいりました。加えて、460億円の自己株式の取得を実施し、3年間累計の総還元性向を100%としております。投資目標においては、M&Aおよび出資、新規事業領域等への投資の一部が未実施であるほか、事業継続投資の一部に期ずれが発生いたしました。

22-24 中計の最終年度となる2025年3月期の連結業績は、市場が伸長したものの薬価改定や人件費、物流費および減価償却費等のコスト増により、売上高2兆9,610億円(前期比3.6%増)、営業利益380億80百万円(同1.0%減)、経常利益404億85百万円(同1.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は273億89百万円(同7.3%減)となりました。なお配当につきましては、期初の予定通り年間配当金63円といたしました。

この結果、22-24 中計で掲げたグループ経営目標は、売上高と株主還元(DOE)で達成、営業利益率、当期純利益率および投資金額では未達となりました。

本年4月からは、新たに「25-27 中期経営計画 Vision2032 Stage2～総合力で未来を切り拓く～」がスタートいたしました。

グループ経営目標の成果

	22-24 中期経営計画	2025年3月期実績
売上高	2兆7,000億円	2兆9,610億円
営業利益率	1.5%以上	1.3%
当期純利益率*1	1.4%以上	0.9%
投資総額(累計)	1,200億円	960億円
株主還元	DOE*2 2.4%以上	2.4%(2023年度は2.8%)

*1 親会社株主に帰属する当期純利益
*2 連結純資産配当率

2023年3月期までの成長戦略「アルフレッサグループ中長期ビジョン」の達成に向けた第2ステージとして位置づけています。TSCSを事業戦略の柱として、「TSCS進化拡大のためのグループ総合力発揮」「成長事業・新規事業への戦略的投資」「基盤事業のさらなる競争力強化」「コストコントロールの徹底」「サステナビリティ経営の推進」の5つのグループ経営方針を定め、重点投資とコスト最適化により、新たな収益モデルを構築し確実な利益拡大に進展させる3年間としていきます。

財務・資本戦略では、資本効率の向上と財務健全性を意識しつつ、持続的企業価値向上のための積極的成長投資と安定した株主還元による中長期ビジョンへの足場固めをしてまいります。

サステナビリティ(ESG)戦略においては、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行し、取締役会の機能

強化を行います。また、地球環境保全、人財の活躍推進、コンプライアンス、リスクマネジメント、ITガバナンス強化、DXにも注力してまいります。

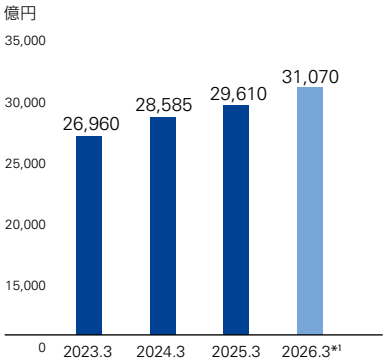
TSCSの進化拡大により、引き続き「健康寿命の延伸」とそれを支える「地域医療への貢献」、そして「ヘルスケア・イノベーション」といった社会価値創造とグループの持続的成長の両立を目指した取り組みを進めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

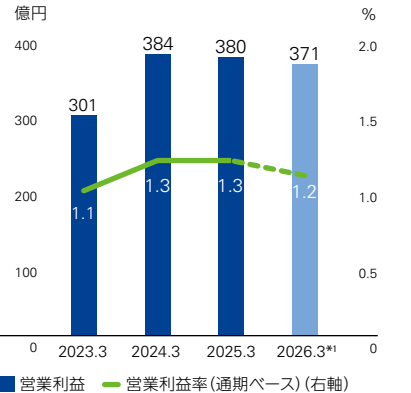
荒川隆昭

連結財務ハイライト

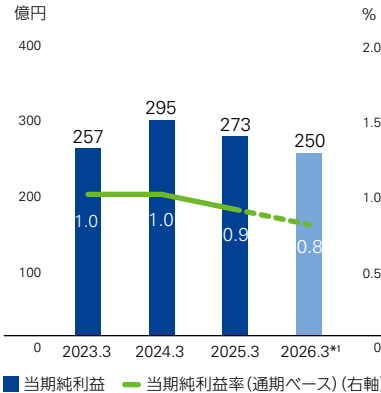
売上高



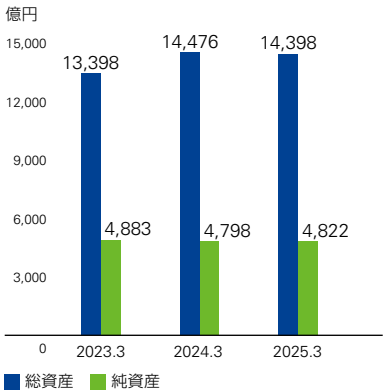
営業利益・営業利益率



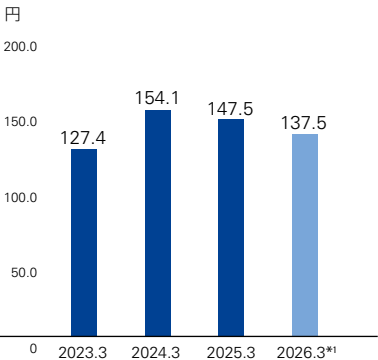
当期純利益・当期純利益率*2



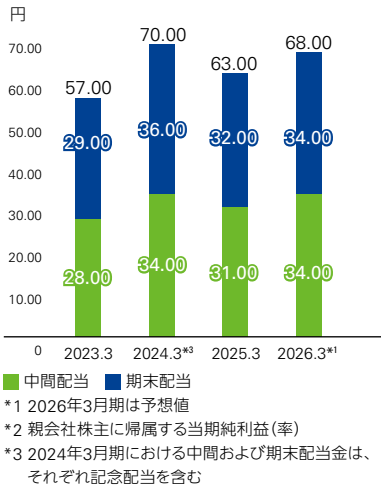
総資産・純資産



1株当たり当期純利益 (EPS)



1株当たり配当金



*1 2026年3月期は予想値
*2 親会社株主に帰属する当期純利益(率)
*3 2024年3月期における中間および期末配当金は、それぞれ記念配当を含む

「将来見通し」に関する注意事項
当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

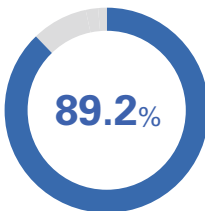
事業別業績

(注) 医療用医薬品等卸売事業、セルフメディケーション卸売事業、および医薬品等製造事業には内部売上を含む

連結売上高 **2兆9,610億円** (前期比3.6%増)

医療用医薬品等
卸売事業

売上高構成比率



売上高 **2兆6,400億円**
(前期比3.9%増 ▲)

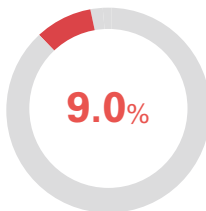
営業利益 **330億円**
(前期比0.1%減 ▼)

市場の伸長、売上総利益率改善への取り組みの一方、薬価改定によるマイナス影響や仕入価格の上昇、人件費、物流費および減価償却費等のコスト増により、増収減益となりました。

連結営業利益 **380億円** (前期比1.0%減)

セルフメディケーション
卸売事業

売上高構成比率



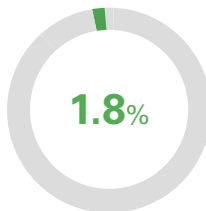
売上高 **2,657億円**
(前期比1.1%増 ▲)

営業利益 **29億円**
(前期比10.0%増 ▲)

市場環境の変化に伴う競争の激化やコスト増があったものの、インバウンド需要回復による市場成長、適正価格での販売への取り組みおよび販管費抑制等により、増収増益となりました。

医薬品等
製造事業

売上高構成比率



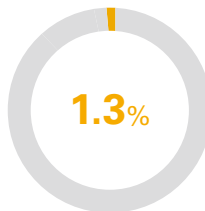
売上高 **540億円**
(前期比2.5%増 ▲)

営業利益 **12億円**
(前期比31.6%減 ▼)

原薬および受託製造ならびに医療機器の売上伸長に加えて販管費抑制に取り組んだものの、薬価改定および製造原価上昇等によるマイナス影響等により、増収減益となりました。

医療
関連事業

売上高構成比率



売上高 **370億円**
(前期比1.0%増 ▲)

営業利益 **5億円**
(前期比16.3%減 ▼)

市場伸長の影響により増収であった一方、薬価改定によるマイナス影響、仕入原価上昇および販管費増加等の影響により、増収減益となりました。

Vision2032 Stage2 ～総合力で未来を切り拓く～

2025年4月より、新中期経営計画である「25-27 中期経営計画 Vision2032 Stage2～総合力で未来を切り拓く～」がスタートしました。

アルフレッサグループ 中長期ビジョン

アルフレッサグループではグループ理念に基づき、健康寿命の延伸、地域医療への貢献およびヘルスケア・イノベーションなどの社会価値を創造するため、2033年3月期までの中長期的な目標に向けた戦略を示した「アルフレッサグループ中長期ビジョン」(2023年5月策定)において、基盤事業、成長事業、新規事業の事業戦略を遂行し、TSCS(トータルサプライチェーンサービス)の強化と拡大を目指しています。

事業環境と課題認識

当社グループを取り巻く経営環境は、今後大きく変化することが予想されます。環境変化による脅威がある一方で、豊富な事業機会もあると考えています。

アルフレッサグループを取り巻く事業環境

少子高齢化
労働人口減少

- ・人財育成
- ・優秀な人財確保
- ・人財流出防止

物流費・人件費
エネルギー価格高騰

- ・コストコントロール
- ・ロジスティクスネットワークの最適化

毎年の薬価改定
薬価制度の見直し

- ・適正価格の推進
- ・政策の変化への対応

医薬品供給不安



- ・物流のさらなる高度化・効率化・標準化
- ・医薬品在庫の見える化推進

テクノロジー進化
遠隔医療の拡大

- ・ソリューション推進
- ・医療DX対応(ヘルステック)

働き方改革



- ・柔軟な働き方の実現
- ・医療従事者支援
- ・タイムパフォーマンス改善による生産性向上

25-27 中期経営計画 グループ経営方針

25-27 中期経営計画は、中長期ビジョンの目標達成に向けた第2ステージであり、確実な利益拡大のための重点投資とコスト最適化の3年間とし、これまでの取り組みを進化させます。「TSCS進化拡大のためのグループ総合力発揮」「成長事業・新規事業への戦略的投資」「基盤事業のさらなる競争力強化」「コストコントロールの徹底」「サステナビリティ経営の推進」の5つのグループ経営方針を定めました。

01 TSCS進化拡大のためのグループ総合力発揮

02 成長事業・新規事業への戦略的投資

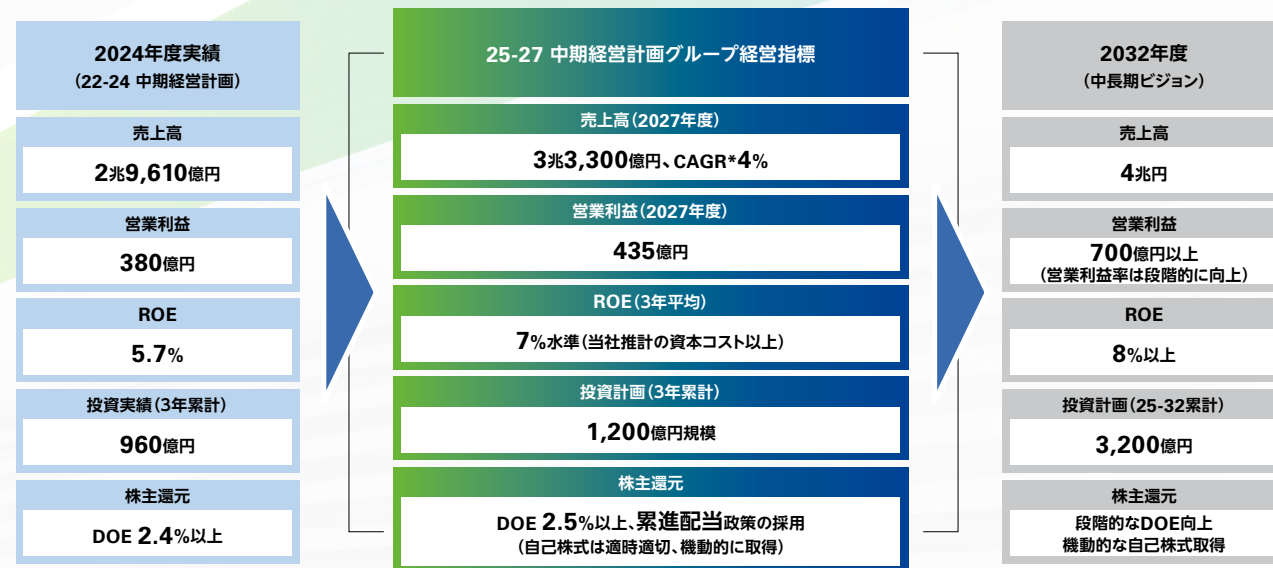
03 基盤事業のさらなる競争力強化

04 コストコントロールの徹底

05 サステナビリティ経営の推進

グループ経営指標

中長期ビジョン達成に向けた第2ステージとして、2028年3月期の売上高3兆3,300億円、営業利益435億円、ROEは3年平均で7%水準、投資計画は3年間累計で1,200億円を経営指標としています。株主還元につきましては、DOEを22-24 中期経営計画の実績から0.1%アップさせ、2.5%以上を目指し、かつ累進配当政策を採用します。



* Compound Annual Growth Rate。年平均成長率

01 TSCS進化拡大のためのグループ総合力発揮

TSCS(トータルサプライチェーンサービス)とは、グループ全体で保有する様々な機能を有機的に一体活用することで、シームレスなサプライチェーンを確立し、医薬品等の導入・開発、製造から、物流・販売、市販後調査までをグループ一体となって提供することです。

25-27 中期経営計画では、グループの総合力を発揮し、限定流通品の獲得、CDMO^{*1}事業の拡大、および安定的なサプライチェーン運営を目指し、製造から流通まで一貫通貫できるTSCSモデルを確立していきます。



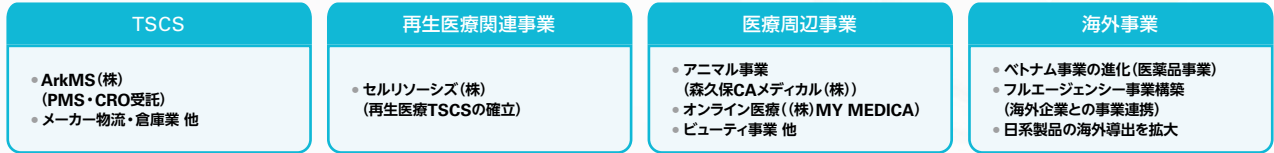
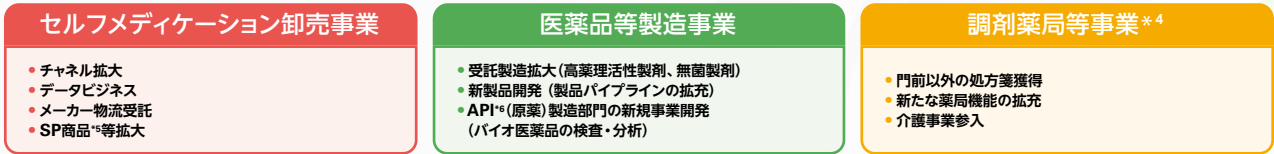
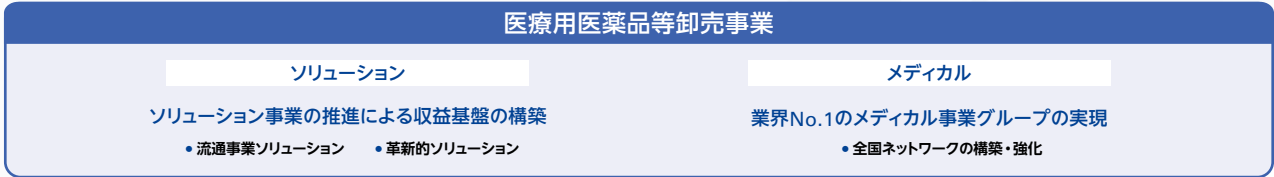
25-27 中期経営計画で取り組むこと



*1 Contract Development and Manufacturing Organization。医薬品の製造工程の開発から、治験薬や商用製造までを受託するサービス
*2 Contract Research Organization。臨床開発を支援する組織
*3 Medical Representative。製薬企業の医薬情報担当者

02 成長事業・新規事業への戦略的投資

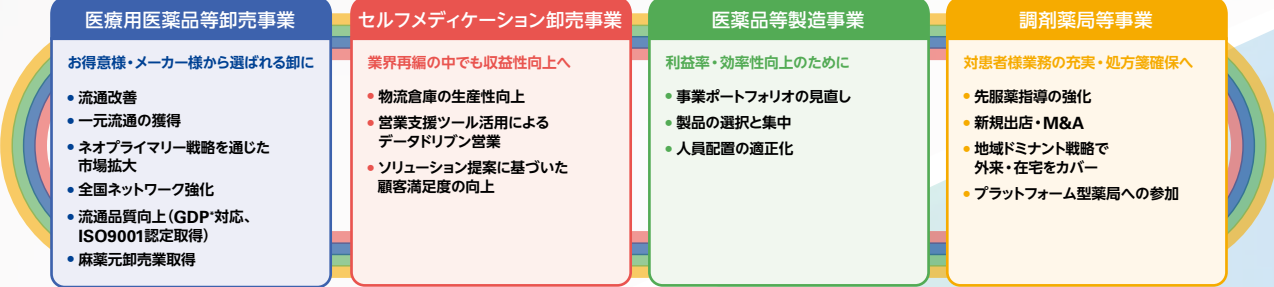
各事業セグメントにおける成長事業・新規事業に加えて、TSCS、再生医療関連事業、医療周辺事業、海外事業へ戦略的な投資を行います。



*4 従来の医療関連事業を調剤薬局等事業というセグメント名に改称
*5 セルフプリベンション商品
*6 Active Pharmaceutical Ingredient。医薬品の原薬

03 基盤事業のさらなる競争力強化

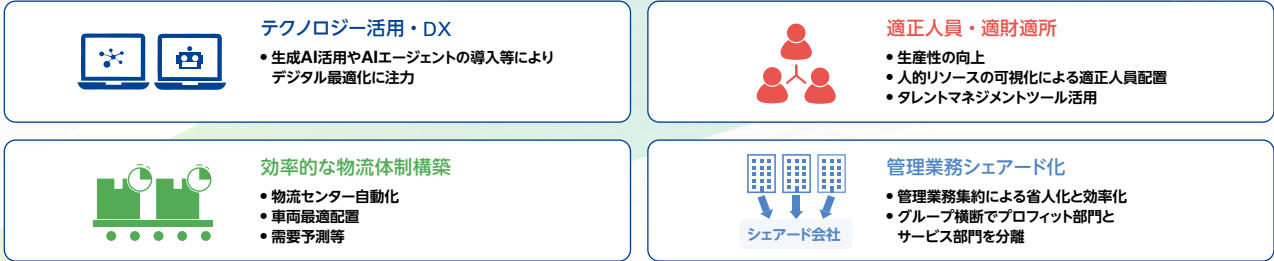
グループ価値向上に向けて基盤事業の収益力向上を図ります。



* Good Distribution Practice。医薬品の流通過程における品質保証を目的にした基本的な指針

04 コストコントロールの徹底

物流費や人件費の上昇、および毎年薬価改定の環境の中、コストコントロールの徹底を進めます。



05 サステナビリティ経営の推進

グループ理念の実践を通じて、医療・ヘルスケア領域における社会・環境課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献し、持続的な企業価値の向上を目指します。



TOPICS



基盤事業の強化：グループにおける流通品質向上と業務効率化の推進

医療用医薬品等卸売事業における流通品質強化の取り組みとして、品質マネジメントシステムに関する国際規格「ISO9001」の認定取得をグループ全体で推進しています。2025年2月にはアルフレッサ(株)がロジスティクス本部ロジスティクス業務部と埼玉物流センター、愛知物流センター、大阪物流センターにおいて取得しました。

また、医療分野における業務効率化や医療の質向上への貢献として、2025年1月、アルフレッサ(株)がアセントロボティクス(株)と資本業務提携を行いました。最先端のデジタルツイン技術を活用した医薬品物流や医療現場におけるAIソリューション・サービスの開発を進めることで医薬品

の識別や自動化を実現し、医療分野における業務効率化と医療の質向上などを目指し協業を進めています。

セルフメディケーション卸売事業においては、アルフレッサヘルスケア(株)が九州物流センターを熊本県御船町に移転し、2025年2月から新たに稼働を開始しました。同センターでは、3次元ロボットピッキングシステムを導入し、業務効率を大幅に向上させています。

アルフレッサグループは引き続き基盤事業の強化を進め、医療業界における信頼性とサービス品質の向上を図り、地域医療へのより一層の貢献を果たしていきます。



アセントロボティクス(株)のAI技術によるデジタルツインの例
(現実空間のデータを元にデジタル空間で再現)



アルフレッサヘルスケア(株)九州物流センター 外観



成長事業の育成：創薬ベンチャー等との協業で製品パイプラインおよび取扱製品の拡充を推進

アルフレッサグループは成長事業の中で「新規開発医薬品」を掲げ、製品パイプラインの拡充を積極的に進めています。

アルフレッサファーマ(株)が、ARS Pharmaceuticals Operations, Inc.と国内での開発・販売のライセンス契約を締結し、アナフィラキシーに対する補助治療剤であるアドレナリン(一般名)点鼻液*1の製造販売承認申請を2024年11月に行いました。

2024年10月、当社は(株)ジェクスヴァルとの資本業務提携を行いました。同社は、希少疾患に特化した新薬の研究開発を行っており、AIを活用した効率的な創薬プロセスを採用しています。今回の提携により、神経系疾患に対する新薬「GXV-001」の開発・製造・流通・販売等に関する事業について協働を進めます。

2024年12月、当社と四国アルフレッサ(株)は、KORTUC INC.(コルタック社)が発行する転換社債を引き受ける契約を締結し、また、当社はコルタック社と業務提携を行い、がんの放射線治療効果を高める放射線増感剤「KORTUC」について、日本国内における販売および流通に関する独占交渉権を取得しました。

さらに2025年4月、当社は(株)LTTバイオフーマとバイオ医薬品「PC-SOD」*2に関する共同開発契約を締結しました。当社グループは研究開発費の一部を負担するとともに、TSCS(トータルサプライチェーンサービス)による支援を行います。

*1 現在、国内のアドレナリンの医薬品はアドレナリン注射液自己注射キット製剤およびアドレナリン注射液があります
*2 がん治療に使用される化学療法薬の副作用として発生する神経障害であるCIPN(化学療法誘発性末梢神経障害)薬剤を体内の特定の部位に、必要な量、適切な時間作用するよう設計された技術ドラッグデリバリーシステム(DDS)を用いたバイオ医薬品

当社WEBサイトのコーナー「もっと知ろう!アルフレッサグループ」記事ご紹介

「もっと知ろう!アルフレッサグループ」は、アルフレッサグループに関わる全ての方に、アルフレッサグループの内側を見せるメディアです。社員の想いや会社の方向性を伝えるため、インターネットといったオープンなメディアを通じて、アルフレッサグループのありのままの姿をお届けします。

『「良質な薬の新しい価値を掘り起こし、難治・希少疾患を治したい」
～(株)ジェクスヴァルとの資本業務提携について～』

<https://www.alfresa.com/wholesaling/report15/>



TOPICS



新規事業開発：ヘルステックおよび再生医療 サプライチェーン構築の取り組み

ヘルステック推進による医療アクセスの向上を目的として、2024年12月、アルフレッサ(株)がヤマトホールディングス(株)と共同で新会社(株)MY MEDICAを設立しました。自動車運送事業者の従業員の健康管理と重症化予防に向けて、オンライン医療サービスを提供し、健康起因事故のリスクを軽減することを目指しています。

また、アルフレッサ ヘルスケア(株)が、2025年3月にヘルスケア領域に特化した販促・マーケティング支援やセルフメディケーション推進ツールを提供するウィルベース(株)との間で資本業務提携を行いました。ウィルベース(株)が保有する豊富なデータを活用した市場予測、新商品の企画および販促の最適化等を行い、データドリブン経営*の強化を図ります。

再生医療サプライチェーンの構築としては、2024年11月にアルフレッサ(株)がイノバセル(株)との間で資本業務提携を行いました。同社が開発する切迫性便失禁の治療を対象とした再生医療等製品「ICEF15」の日本国内における独占的卸売販売

権等を取得するとともに、「ICEF15」以外のパイプライン製品の製造・卸売販売等の協業に向け、検討を進めています。

2025年2月には、当社がMinaris Regenerative Medicine(株)(Minaris Advanced Therapiesの日本法人)と再生医療領域での顧客紹介や共同プロモーション活動を行う覚書を締結しました。これにより、同社が保有する豊富な製造、製法開発の受託実績やノウハウおよび当社グループが保有する再生医療等製品の製造・保管・輸送の機能とネットワークを組み合わせた連合体としての包括的なサービスの提案を、国内外の顧客に対して行います。加えて2025年3月に、セルリノシズ(株)が羽田イノベーションシティに「羽田Process Development Center」を新設することを発表しました。細胞・遺伝子治療薬の製造において多様な製造工程に対応できる自動化装置を導入し、顧客に最適な製造方法を提案するプロセス開発をサービスとして提供します。

* 客観的な根拠のあるデータ分析に基づき戦略や方針等の意思決定を行う経営手法を指します

MY MEDICA



「MY MEDICA」利用イメージ



当社WEBサイトのコーナー「もっと知ろう!アルフレッサグループ」記事ご紹介

『セルリノシズ(株)の羽田PDC開設～再生医療という希望をすべての人に届ける～』



<https://www.alfresa.com/others/report1/>



サステナビリティ(ESG):環境、社会分野における取り組み

アルフレッサグループは、持続可能な社会の実現へ貢献するため、環境および社会分野で様々な取り組みを進めています。

事業活動を通じた環境保全への取り組みでは、アルフレッサ(株)とエーエル プラス(株)が、ヤマトオートワークス(株)の「EVライフサイクルサービス」を導入し、5拠点にEVを45台導入しています。また、エネルギーマネジメントシステム(EMS)*1を試験導入し効率的なエネルギー管理を進めることで、CO₂排出量削減など環境に配慮した事業活動を推進しています。

地域医療への貢献においては、ティーエスアルフレッサ(株)が、2025年1月に広島県廿日市市と日本ドローン機構(株)との間で災害時等における無人航空機による活動協力に関する協定を締結しました。同社は、操縦資格者の派遣やドローンを活用した訓練への協力、助言等を行うとともに、災害情報の収集と提供、および孤立地域等への物資の輸送に関する協力を行います。

またアルフレッサ(株)が、(株)エアロネクストと同社の子会社(株)NEXT DELIVERYと協業し、静岡県川根本町において、

ドローンを活用した医療機関への医薬品の定期配送を2025年4月から開始しました。平時からドローンによる医薬品配送が行われる社会を実現し、有事におけるドローン配送を活用した医療提供活動の支援や、孤立などの課題解決につなげていきます。

さらに明祥(株)では、2025年2月に富山県富山市と「富山市民の健康づくりに関する協定」を締結し、富山市民のみなさまの健康づくりに係る施策の充実を図っています。

ダイバーシティ推進に向けた取り組みとしては、2024年8月にアルフレッサ(株)が新たに子育てサポート企業として厚生労働大臣より「くるみん認定」を取得しました(グループとして4社目)。また、2025年3月にはアポクリート(株)が健康経営優良法人認定制度*2の大規模法人部門において初めて「健康経営優良法人2025」に認定されました(健康経営優良法人の認定取得はグループで15社目)。

*1 エネルギーの使用を監視し、効率的に管理するシステム

*2 地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度

当社WEBサイトのコーナー「もっと知ろう!アルフレッサグループ」記事ご紹介

『「アルフレッサグループのCO₂排出量削減を加速させたい」～アルフレッサ(株)とエーエル プラス(株)の5拠点にEV45台を導入～』



<https://www.alfresa.com/wholesaling/report13/>

『ドローンを活用した安定的な医薬品等配送の実現へ～日本ドローン機構(株)、広島県廿日市市との災害時等における無人航空機による活動協力に関する協定を締結～』

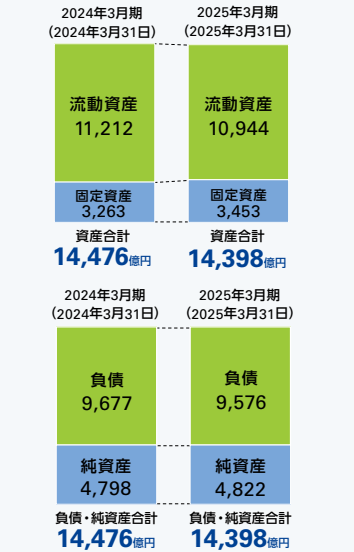


<https://www.alfresa.com/wholesaling/report14/>

連結財務諸表（概要）

連結貸借対照表

単位：億円



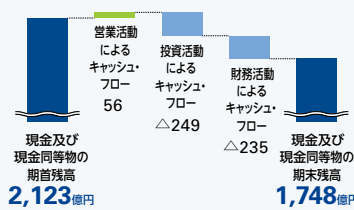
POINT 資産			
資産は2024年3月期末と比較して、77億円の減少となりました。			
流動資産：△267億円		固定資産：+189億円	
商品及び製品	+101億円	有形固定資産	+108億円
現金及び預金	△366億円	投資有価証券	+96億円

POINT 負債・純資産			
負債は2024年3月期末と比較して、101億円の減少となりました。		純資産は2024年3月期末と比較して、23億円の増加となり、自己資本比率は33.5%となりました。	
流動負債：△120億円		純資産：+23億円	
支払手形及び買掛金	△204億円	資本剰余金	△259億円
固定負債：+18億円		利益剰余金	+151億円
		自己株式	+150億円

連結キャッシュ・フロー計算書

2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）

単位：億円



POINT キャッシュ・フロー計算書			
現金及び現金同等物は、2025年3月期において375億円の減少となりました。			
営業活動によるキャッシュ・フロー：56億円の収入		投資活動によるキャッシュ・フロー：249億円の支出	
税金等調整前当期純利益	+393億円	有形固定資産の取得による支出	△165億円
減価償却費	+144億円	投資有価証券の取得による支出	△118億円
棚卸資産の増加	△111億円	投資有価証券の売却による収入	+65億円
仕入債務の減少	△243億円		
財務活動によるキャッシュ・フロー：235億円の支出			
自己株式の取得による支出	△110億円		
配当金の支払	△125億円		

連結損益計算書および業績予想

科目	2024年3月期 (2023年4月1日～2024年3月31日)	2025年3月期 (2024年4月1日～2025年3月31日)	増減額	単位：億円
				2026年3月期予想
売上高	28,585	29,610	1,025	31,070
売上総利益	2,063	2,139	75	2,207
営業利益	384	380	△3	371
経常利益	399	404	4	397
当期純利益*	295	273	△21	250

* 親会社株主に帰属する当期純利益

株式情報（2025年3月31日現在）

株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	191,300,000株
株主数	15,789名

大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER	26,947	14.8
2	INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,198	5.1
3	アルフレッサ ホールディングス株式会社	9,096	—
4	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	8,183	4.5
5	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,414	3.0
6	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	5,070	2.8
7	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,946	2.7
8	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	4,232	2.3
9	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口 再信託 受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,555	2.0
10	BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	3,126	1.7

会社概要（2025年6月25日現在）

取締役

代表取締役社長	荒川 隆治
代表取締役副社長	福神 雄介
取締役常務執行役員	大橋 茂樹
取締役常務執行役員	田中 敏樹
取締役	島田 浩一
社外取締役	木下 学
社外取締役	竹内 淑恵
社外取締役	國政 貴美子
取締役（監査等委員）	上田 裕治
社外取締役（監査等委員）	伊東 卓
社外取締役（監査等委員）	木崎 博
社外取締役（監査等委員）	飯塚 幸子

グループ会社（連結）

医療用医薬品等卸売事業	医薬品等製造事業
- アルフレッサ株式会社 - 四国アルフレッサ株式会社 - ティーエスアルフレッサ株式会社 - 明祥株式会社 - 株式会社琉薬 - 東北アルフレッサ株式会社 - アルフレッサ メディカルサービス株式会社 - アルフレッサ篠原化学株式会社 - エーエル プラス株式会社 - エス・エム・ディ株式会社	- アルフレッサ ファーマ株式会社 - 青島耐絲克医材有限公司 - アルフレッサ ファインケミカル株式会社
調剤薬局等事業	アポクリート株式会社
情報システムの運用・保守および開発事業	アルフレッサ システム株式会社
セルフメディケーション卸売事業	
アルフレッサ ヘルスケア株式会社	その他
	セルリソノーズ株式会社

所有者別株式分布状況

